



阿波高新聞

171号

編集 新聞・文芸部

新聞・文芸部員大募集!
私たちが一緒に阿波高新聞やオリジナル部誌を作ってみませんか。文章やイラストを書くのが好きな人、ぜひ新聞・文芸部に入部してください。待っています!
また、阿波高新聞で取り上げてほしい記事等がありましたら、顧問の佐藤先生までお知らせください。

明けましておめでとうございます。
新聞・文芸部です。今年もよろしくお願いいたします。
さて、今月号は、昨年の十一月末に実施された修学旅行特集です。二年生の皆さんには二学期末のお忙しいときにアンケートに答えていただき、本当にお世話になりました。また、貴重な作品も提供してくださり、ありがとうございました。

◎修学旅行特集

Q1 修学旅行は楽しかったですか?

A ①はい……98%
②いいえ……2%



Q2 特に楽しかった(よかった)ところはどこですか?

第一位 ナガシマリゾート……36%

友達といろいろなアトラクションに乗れた!
最近テーマパークに全く行っていなかったから、その分楽しく感じました。
絶叫マシンが最高だった。

第二位 アウトレット……33%

コロナ禍であまり外出できない中、久しぶりにたくさん買い物できたから。
徳島にはないお店を見ることができたから。
友達と買い物できて楽しかった。
地域クーポンのおかげで、罪悪感なく好きなものが買えたから。



第三位 なばなの里……12%

イルミネーションが思っていたよりすごかった。
イルミネーションの規模が大きく、とても綺麗だった。
イルミネーションももちろん美しかったのですが、温室の花があまりにも綺麗で、時間を忘れて過ごしてしまいました。



第四位 鳥羽水族館……11%

シュゴンがエロい。
生き物が好きだから。
海中生物をたくさん見られたから。
魚が好きだし、友達と回るのが楽しかったから。

第五位 彦根城……3%



あとは僅差で滋賀県立琵琶湖博物館、伊勢神宮、おかげ横丁、ミホミュージアムとつづきます。今年一年コロナのために私たちの生活も様々な制限を受けましたが、「久々の「友達との行動」がとても楽しかったんだな」と思えるアンケート結果ですね。

Q3 予想していた以上に楽しかった(よかった)ところはどこですか?

第一位 なばなの里……21%

第二位 ナガシマリゾート……14%

鳥羽水族館……14%

第三位 アウトレット……13%

第四位 彦根城……10%

おかげ横丁……10%



彦根城のガイドさんが面白かった。
彦根城のガイドさんと話すのが楽しかった。
ガイドさんがかわいらしく、説明も分かりやすかったから。
ひこにゃんがいたから(平日なので不在だと思っていました)。
ひこにゃんが意外とかわいかったから。
おかげ横丁は想像していたよりもたくさんお店があって、美味しいものも食べられて楽しかった。

第五位 滋賀県立琵琶湖博物館……8%

虫の標本と動物の骨でテンションがあがった。
思っていた以上に展示物があり、その内容がとてもおもしろかった。

あとは僅差でミホミュージアム、信楽焼絵付け体験、伊勢神宮と続きます。この質問で面白かったのは、Q2では登場しなかった項目にも票が入っていたところです。
「ミホミュージアム」に関しては、「山の中にあるというののもとても神秘的だったし、文化に触れることができてとても楽しかった。時間がなくて全て回れなかったのですが、もう一度行きたいです。」スタッフの方がたくさん話しかけてくれて、作品のことについて楽しく知ることができたから。」という意見がありました。

行ってみなくては、してみなくては分からないことが分かるというのが「旅」の楽しみなんだなと思いました。そして、「人との出会い」ですね。

Q4 感染症対策は心がけていましたか?

A ①はい……97%
②いいえ……2%(無回答1%)

この質問に関しては「特別に」というニュアンスに重きを置いてしまった人が、「いいえ」などにしてしまったようです。その人たちも、決められた対策はされていました。ということで、Q5は「特別に」心がけたことと言う意味で読んでください。

Q5 どんなことを心がけましたか?

ホテルに戻ったらすぐ手洗いうがいをした。
こまめに消毒した。
食べる前には必ず消毒をするようにした。



マスクを手放さない。部屋でもマスク着用。話すときはマスク。一日にマスクを二、三回変えた。

自分の手荷物、キャリーバッグも消毒した。
制服の消毒。除菌スプレーをした。

何でも触らない、触ったら即消毒。お店を出ると毎回消毒。
観光客との「密」を避ける。
帰宅後すぐにお風呂に入った。

一月になり、徳島でも感染者が出たり、「緊急事態宣言」が都市部で出されたりしている今、参考にさせていただきたいと思えます。
★二年生の皆さんの「思い出」の短歌と俳句(川柳)
鮮やかな紅葉と琵琶湖の絶景に高鳴る鼓動始まりの時 O
水槽で銀に輝く奴の名は琵琶湖固有種ゲンゴロウブナ O
石垣の紅葉色づく彦根城 K
たかが猫思った私はばかだった手には多くのひこにゃんグッズ A
かわいさで来る人々の足を止め心を射貫く武将ひこにゃん D
紅葉散る川の流れて手を清め K
パワー持つ不思議な木々に手を当てて
皆で囲んだ伊勢の朝かな K
神宮でパワースポット手をかざす信じる者だけ伝わる何か H
クーポンを使い切ろうと五箱買いあつという間に消えた赤福 K
冬の日に経済回すおみやげで M
水族館ウツボ多くてびっくりだ需要の高い生き物なのか
友達と試しに乗ったヴァイキング乗らなければと叫んだ自分 M
恥さらし友に助けを求めたり迷子でさえも今や思い出 N
様々な光が作るなばなの里つかれた心も癒やされ消えた A
冬の夜ふるえる君の手を握り共に歩いた光の世界 T
寒空にイルミネーション煌びやかいつかは彼女と共に歩まん
冬の夜イルミネーション綺麗だね僕の右手はちと寂しい H
冬空に野郎と見たよ光の樹 H
冬空に奇跡の大樹四季奏で Y
冬空に光り輝くなばなの里
ライトで照らされ綺麗な葉っぱ O
お風呂から大きく響く歌い声
流れる歌もかき消すほどに N
月見あげ友と語らう旅の夜恋の話に花を咲かせて Y
良き友と夜の会話は楽しくてあつという間の最後の夜 F
もう一度感じてみたい三重の風伊勢神宮と紅葉と琵琶湖 Y
霜月の琵琶湖と伊勢と信楽と M
一番はホテルの時間これでしょう O
昼ご飯すき焼きの肉最高だ I
何時も皆マスクして会話する
ちょっと変わった修学旅行 K
四日間あつという間の冬の旅 H

